



【日本気象協会からのお知らせ】

2026年2月26日
一般財団法人 日本気象協会

日本気象協会、第63回「宣伝会議賞」一般部門 協賛企業賞を選出 ～2万点を超える応募作品から「もしも」を学び、「いつも」を守る。」に決定～

一般財団法人 日本気象協会（本社：東京都豊島区、理事長：渡邊 一洋、以下「日本気象協会」）は、一般部門の協賛企業として参加した第63回「宣伝会議賞」（主催：株式会社宣伝会議）にて、2万点を超える応募作品の中から協賛企業賞を「もしも」を学び、「いつも」を守る。」に決定しました。また、ファイナリスト作品として、「知識は、持ち歩ける防災グッズです。」が選出されました。

「宣伝会議賞」の一般部門 協賛企業賞は企業や団体が提示する課題に対し、コミュニケーションアイデア（キャッチフレーズ、動画広告、音声広告）を公募する日本最大級のコンテストです。日本気象協会は「宣伝会議賞」一般部門の協賛企業として参加し、「自分や大切な人を守るために、多くの人が気象・防災をあらためて考え、学びたいアイデア」を募集しました。

■日本気象協会 一般部門

協賛企業賞作品（キャッチフレーズ）

“もしも”を学び、“いつも”を守る。 阿部こよみ さん

ファイナリスト作品（キャッチフレーズ）

知識は、持ち歩ける防災グッズです。 初瀬巧 さん

日本気象協会のアイデア募集には2万点を超える応募作品が寄せられ、日本気象協会での職員選考を経て協賛企業賞を決定しました。本作品については、日常と非日常をつなぐ視点を端的に表し、「防災を特別な準備ではなく日常の延長として捉えることの大切さ」を的確に伝えている点を選考ポイントとして高く評価しました。

今回の「宣伝会議賞」を通じて、多くの方に気象や防災について考えていただきました。寄せられた多くのアイデアは今後の日本気象協会における気象・防災知識の普及を図る活動に活用していきます。



写真左から

日本気象協会専務理事 守屋岳、ファイナリスト作品制作者 初瀬巧さん、協賛企業賞受賞者 阿部こよみさん